

平瀬浄水場見学

私たちの飲み水はどこから来ているのかご存知ですか。敷島地区の多くの家庭の飲み水は甲府の平瀬町にある平瀬浄水場から送られてきます。ただ敷島でも北部の清川地区、睦沢地区、吉沢地区は、(平瀬浄水場より)標高が高く、きれいな湧水に恵まれていることから独自の水源を持っています。

6月18日(金)に4年生が社会科の学習「私たちのくらしと水」の勉強で平瀬浄水場を見学に行きました。私も付き添いましたので、浄水場についてお知らせします。

- (1)ある場所 甲府市平瀬町宮平
- (2)敷地面積 62,581平方メートル (東京ドーム約6個分)
- (3)標高 393メートルの高さがあり、その為、甲府市内のほとんどの家庭に自然流下(ポンプで押し出す必要がない)出来ます。
- (4)出来た時 明治42年に工事を始め大正2年に完成しました。日本で26番目に給水を開始しました。
- (5)つくられる水の量(取水能力・浄水能力)
荒川の水を取り入れ、1日に126,400立方メートルの水をつくります。
1秒間では1.46立方メートルの水がつくられることとなります。
- (6)給水人口 約26万人(甲府、旧敷島、昭和町、旧玉穂)
- (7)その他
 - ①平瀬の水は全国でも美味しい水で有名だそうです。
 - ②浄水場で働いている人の数は28人です。
 - ③夜間の安全対策としては、2人ずつでチームをつくり、24時間体制でモニターを見つめて、異状がないか見守っています。
 - ④取り入れた水の安全管理は、所々に魚の泳ぐ水槽を設置し、異常事態が起きたら直ぐに目で確認出来る仕組みになっています。
 - ⑤甲府の南部は昭和町にある昭和浄水場から給水を受けています。昭和浄水場の浄水能力は平瀬の約半分です。
 - ⑥北部に広がる広大な水源かん養林と昭和63年に完成した荒川ダムのおかげで、雨の降らない日が続いても、安定的に美味しい水をつくる事が出来ます。

説明を聞くこども達



施設を見学するこども達



燃え尽き症候群(バーンアウト)

燃え尽き症候群ということばを聞いたことがありますか。何事にも積極的に前向きだった人が急に仕事や生きることに熱意を失い、無気力になってしまうことを言います。この症状は次のような人に起こりやすいといわれています。

- ・ 仕事熱心な人
- ・ 責任感の強い人
- ・ 向上心の強い人

保護者の皆さんも心当たりはありませんか。この症状は特に人を相手に仕事をしている人に起こりやすいといわれています。例えば、医師、看護師、介護士、臨床心理士、教師、弁護士などです。人を相手に仕事をする人は、どうしても自分のことを後回しにして他人のために時間と労力を費やします。時間を費やせば、それだけ良い効果が表れると考えがちになります。そのため寝食を忘れ仕事に向かいます。ところが、人相手の仕事は時間と労力を費やしても、必ずしも良い結果が生ずるとは限りません。こちらの好意や熱意が相手に届かないこともよくあります。その結果、多大な努力が報われず失望し、燃え尽きることになります。

そのように考えると、この症状は日々、子育てに勤(いそ)しむお母さん方(お父さん方)も陥る危険性があります。子育てにおいても計算式はありません。このようにすれば、必ず子どもが心健やかに賢く育つ、そんなマニュアルはありません。良かれ、と思っていたことが空回りをし、逆に親子の溝を深めてしまうこともあります。そんな時、「いったい私は何をしているのだろう」と自分を責め、落胆してしまうこともあります。また、考えてみれば、この燃え尽き症候群という病(やまい)は、中・高校生においては少し形を変え、引きこもり、不登校という形で表れることもあります。

このように考えると、私たち日本人は、生真面目(きまじめな)面を強く持っていますからこの病に罹(かか)る確率が高い国民といえます。自動車や精密機械に代表される世界に誇る日本製品の優秀さは、日本人のこうした几帳面な性格が良い方向に表れたものでしょう。しかし、今日のようなストレスの大きな社会においては逆に国民としての弱点となります。その結果、わが国は世界でも有数の自殺者の多い国となっています。

では、人としての誠実さ、仕事への熱意、向上心を失うことなく、燃え尽きないためにはどうしたらよいのでしょうか。次のような方法が有効といわれています。

○自分なりの気分転換の方法を持つ(趣味を持つ)

私の知り合いの医師に溪流釣りマニアがいます。休みの日になると溪流に出かけ自然と一体になることで、日頃のストレスを解消しています。旅行や映画鑑賞なども良い気分転換になります。

○途中でも仕事を打ち切る

調子が良いと人はつい時間を忘れ仕事に打ち込みます。その結果オーバーワークになり体調を損ねることになります。元気な時は、そのまま乗り切ることも出来ますが、疲労のツケは必ず回ってきます。時計を見て途中でも仕事を打ち切る決断も大切です。

○もし燃え尽き症候群の人が身の回りに居たら

本人が一番辛いのです。懸命に立ち直ろう、と努力しているのです。ですから、周りから「頑張れ」と激励するのではなく、信じ、待ち、見守る姿勢を持ち続けることです。

「燃え尽き」はいわば電池切れと同じです。少し余力を残しておくことが自分自身を破滅から守ります。ストレスの多い現代社会を上手に生きるのは大変なことです。お互い自分自身を大切にしていきたいものです。